

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

1. 京都模擬国連に参加

毎年6月に京都外国語大学附属高校が実施している模擬国連大会に英語科の3年生が参加し、今回は「子供の貧困」をテーマに議論を行った。

2. 東北大震災学生ボランティアスタディツアー参加

平成27年8月に本校生徒14名が、石巻市を訪問し、震災の現状について学んだ。その後、地元の西大寺ふれあいセンター祭りにおいて、福島の高校生が商品開発したラムネやかりんとうを販売し、また文化祭では、東北の現状を伝える写真展を開催し、現地から取り寄せた資料等を来校した一般客や在校生に配布して支援を呼びかけた。

3. タイ・カンボジア研修

本校では、タイ・カンボジア研修を平成19年度より実施している。本年度も42名の生徒が参加し、タイでは、行き直し学校で、過酷な状況下で生きる子どもたちとふれあう中で、自分たちにできることは何かということや、自らの今までの生き方を見つめ直す契機となった。カンボジアでは、シェムリアップにある大正小学校で交流し、日本語教室で学ぶ子どもたちに日本語を教えるというボランティアを行った。

4. カンボジアプロジェクト

本校では平成19年度よりタイ・カンボジア研修に参加している。平成26年の12月にこの研修に参加した生徒が、研修後に自分たちが日本でできることを考え、45万円（パスポート代と渡航費）を集めて、カンボジアの日本語教室から3人の中学生を呼ぶプロジェクトを企画実施した。方法としては、地元の祭りで「カンボジアカレー（タイカレーをベースにカンボジアが語源とされるカボチャを入れたカレーを創作）を販売し、同時に現地の子どもたちが選んだカンボジア雑貨を販売し、同時に募金も行った。10月18日から3週間、カンボジアから3名の中学生が岡山学芸館高校を訪れた。3週間の間に、本校に併設している、学芸館高校清秀高等部中学校に身を置き、日本の中学校の授業を体験してもらった。また、外国語学院の日本語を学ぶ留学生と交流するなど、岡山大学の環境理工学部の生徒と「人間が生活する上でどれくらいのエネルギーが必要か」について話し合う機会も得た。この活動は、カンボジアの子どもたちにとって貴重な体験になったと共に、高校生や大学生にとっても貴重な体験となり、双方向に効果のあったプロジェクトとなった。

1. カンボジアプロジェクト



池に浮かべる灯籠を準備する三宅さん夫妻

られた牛乳、
などの紙パッ
0個の側面に
内部にろうそ
をす。ギャラリ

カンボジアの 中学生招こう

カレー販売や募金

学芸館高校生

カンボジアで日本語を学ぶ中学生を岡山市に招こうと、学芸館高校（東区西大寺上）の生徒有志ら15人が6日、西大寺観音院（同西大寺中）で開かれたイベント「会陽アト祭り」で、手作りカレーを販売したり、募金活



カンボジアの中学生を招こうと手作りカレーを販売する学芸館高校の生徒有志ら

動を行ったりした。同校の生徒有志は2014年から、研修旅行先のカンボジア・シエムリアップ州にある「むつみ日本語学校」

らったたりした。16年度中に2回目を計画している学芸館高校2年の森弓花さん(17)ら有志はこの日、前回の45万円以上を目標

で学ぶ中学生を招くプロジェクトを展開。募金やカレーの売上金の一部などで45万円を集め、15年秋に中学生3人を招待し、ホームステイしてもらった。観光を兼ね、15年秋に中学生3人を招待し、「プロジェクト」を実行している高校生は偉い。カレーもおいしい」と話していた。

自営業藤本沙織さん(29)「北区大供」は「プロジェクト」を応援している高校生は偉い。カレーもおいしい」と話していた。

カレー販売と募金活動は13日午前8時〜11時に西大寺グリーンテラス（東区西大寺南）駐車場前で開かれる西大寺朝市など、校内外のイベントで行う予定。（山内悠記子）

卒業記念で贈られたコースターを見る宇野小6年生



輝いて ま

ともに構築を目指すとした活動に取り組むしたことを報告し

学芸館高生有志が渡航費集め招待

学芸館高校（岡山市東区西大寺上）の生徒有志が義援金などを集めて渡航費を賄い、カンボジアで日本語を学ぶ中学生3人を留学生として招いた。3人は18日から市内に滞在し、現在は学芸館高の生徒宅にホームステイして日本の文化を学んでいる。11月3日には西大寺地区のイベントと一緒にカレーを販売する。（水野雅文）



「レトロ・マルシェ」で販売するカレーを試食する学芸館高の生徒とカンボジアの留学生（中央の3人）

カンボジアの中学生3人留学

3人は、市内のNPO（現・むつみ日本語学校）での「レトロ・マルシェ」で法人日本・カンボジア教を訪れた際、教材などが不十分な中で真剣に勉強している姿に感動し、「むつみ日本語学校」にかしてあげたい」と考へ、教員や他の生徒たちに関わりが深い職業を自分の関わりが深い職業を目標としているという。11月プロジェクトを立ち上げ、6日まで20日間の日程で、学芸館高や同校系列、3月から地元イベントで、学芸館高や同校系列、カンボジアへ義援金として

民泊、日本文化学ぶ

来月3日西大寺 催しでカレー販売

の清芳中学校（同所）の生徒と一緒に授業を受けたり、市内の小学校で自国の文化を教えたりして、9月の文化祭まで目標の45万円を集めた。小野君は「彼女たち（18）が発表した。昨年12月、同校が実施したカンボジアなどへの研修旅行に参加し、日本語教室

委員長 0900-7370-0044 (水野雅文)



実す、ティーバザーを開催し、性化に向けて農林水産

来月、精神障害考えるフェス 実行委、市長に内容紹介

4千人 歳以下 人感る、 紹介し、 収は伸



2. 西大寺小学校出前授業

